

—— クライアント運用管理ソフトウェア ——

SKYSEA

Client View

スカイシー クライアント ビュー

2025/6/30

SKYSEA Client View Cloud Edition

サービス仕様書

第4.0版



目次

P. 4

1. はじめに

P. 5

2. サービス概要

P. 10

3. ライセンス・契約について

P.12

4. サービス関連事項

改訂履歴

版数	発行日	変更内容
1.0	21/11/29	<ul style="list-style-type: none"> 新規作成
1.1	22/1/27	<ul style="list-style-type: none"> 4. 11 スペック情報 更新
2.0	22/6/20	<ul style="list-style-type: none"> M1 Cloud Edition 追記
2.1	22/10/17	<ul style="list-style-type: none"> 2. 2 ログデータについて M1 Cloud Editionのログデータ提供の項目を追記 2. 5 バックアップについて イメージバックアップデータの保存期間を追記 2. 6 サービスへの接続方式について S1 / S3 Cloud Editionの暗号化の項目を追記 2. 6 サービスへの接続方式について M1 Cloud Edition暗号化の項目を追記 2. 8 クロックの同期について 追記 2. 9 セキュリティに配慮した開発について 追記 2. 10 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化について 追記 2. 11 記録の保護について 追記 4. 9 情報セキュリティインシデントについて 追記 4. 10 情報セキュリティ事象の報告について 追記
2.2	22/11/1	<ul style="list-style-type: none"> 4.11 スペック情報 更新
2.3	22/12/12	<ul style="list-style-type: none"> 2. 1 SKYSEA Client View Cloud Editionとオプション 機能概要：M1 Cloud Editionのリモート操作をOPに更新 3. 1 ライセンス・利用期間について 利用台数：M1 Cloud Editionを最大499台に変更
2.4	23/1/17	<ul style="list-style-type: none"> 2. 1 SKYSEA Client View Cloud Editionとオプション M1 Cloud Editionのオプション機能を追記 2. 10 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化について 更新 2. 11 記録の保護について 更新 4. 10 情報セキュリティ事象の報告について 緊急メンテナンスの項目を追記 4. 11 スペック情報 更新
2.5	23/2/28	<ul style="list-style-type: none"> 2. 7 サービス基盤で利用するOS・クラウドサービスについて 更新 3. 3 サービス終了後のデータについて 更新 4. 9 情報セキュリティインシデントについて 更新
2.6	23/4/6	<ul style="list-style-type: none"> 2. 7 サービス基盤で利用するOS・クラウドサービスについて 更新
3.0	23/6/5	<ul style="list-style-type: none"> S1H / S3H Cloud Edition 追記 4. 11 スペック情報 更新
3.1	23/9/1	<ul style="list-style-type: none"> 2. 6 サービスへの接続方式について 更新
3.2	24/1/12	<ul style="list-style-type: none"> 3. 2 契約について 更新
3.3	24/12/2	<ul style="list-style-type: none"> 2.1 SKYSEA Client Viewとオプションについて 更新 3.1 ライセンス・利用期間について 更新 3.5 ライセンスの不正利用について 新規追加 4. 11 スペック情報 更新
3.4	25/3/3	<ul style="list-style-type: none"> 2. 2 ログデータについて M1 Cloud Editionのログ保存期間を更新 4. 11 スペック情報 更新
3.5	25/4/24	<ul style="list-style-type: none"> 2. 5 バックアップについて M1 Cloud Edition（リモート操作オプション）の項目を追記 2. 7 サービス基盤で利用するOS・クラウドサービスについて 追記 3. 3 サービス終了後のデータについて 追記
4.0	25/6/30	<ul style="list-style-type: none"> 2. 5 バックアップについて 更新 2. 7 サービス基盤で利用するOS・クラウドサービスについて 追記 4. 5 障害時の対応について 更新 4. 11 スペック情報 更新

1. はじめに

1.1 本書の位置づけ

本書は、S k y 株式会社（以下、S k y）が提供するSKYSEA Client View Cloud Editionのサービス仕様書です。本書および提供するサービスに関して、予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

1.2 サービス紹介

SKYSEA Client View Cloud Editionは、S k y が提供するクラウドサービスです。
SKYSEA Client ViewはクライアントPCや組織内のサーバー、USBデバイスなどのIT資産を一元管理するクライアント運用管理ソフトウェアです。

2. サービス概要

2.1 SKYSEA Client View Cloud Editionとオプションについて

オンプレミス版SKYSEA Client Viewの機能をクラウドサービスでご提供します。

クラウドでの提供に伴い、オンプレミス版に搭載されていても提供できない機能、オプションとなる機能があります。

Editionや搭載機能は下記の通りです。

S1 / S1H Cloud Edition	ログ管理、IT資産管理など、情報漏洩対策に必要な基本機能を搭載したEdition ※ログ解析機能は付帯しません。
S3 / S3H Cloud Edition	ログ管理、セキュリティ管理、IT資産管理など、情報漏洩対策に必要な基本機能に加え、サイバー攻撃対策などに活用できる各種機能を搭載したEdition ※ログ解析機能は付帯しません。
▼オプション機能	<ul style="list-style-type: none"> https ゲートウェイ オプション シンクライアント オプション ログ保管容量 追加オプション (1TB単位) ログ解析 オプション 紛失端末制御オプション EDRプラスバック Cloudオプション (FFR1 yarai Cloud版のみ) 不許可端末遮断 オプション リモート操作 オプション https ゲートウェイ経由リモート操作 オプション MDM Services クラウドリソース追加 オプション
M1 Cloud Edition	ログ管理、セキュリティ管理、IT資産管理など、情報漏洩対策に必要な機能を厳選して搭載したWebブラウザで管理するEdition
▼オプション機能	<ul style="list-style-type: none"> MDM Services リモート操作 オプション 紛失端末制御オプション SKYSEA Client View Remote Access Services in SKYDIV Desktop Client Technology

- S1 / S1H / S3 / S3H / M1 Cloud Editionを1契約の中で併用することはできません。
- S1 / S1H Cloud EditionからS3 / S3H への移行が可能です。S3 / S3HからS1 / S1Hへの移行はできません。契約終了後、新規でご契約ください。
- M1 Cloud EditionからS1 / S1HもしくはS3 / S3Hへの移行、S1 / S1HもしくはS3 / S3HからM1への移行はできません。契約終了後、新規でご契約ください。
- 現在オンプレミス版のSKYSEA Client Viewをご利用いただいている方も、新規での契約となります。
- 各Cloud Editionで搭載されている機能やオプション機能、連携機能は現段階でサービス提供可能な機能です。今後Cloud Editionへの搭載機能の追加やオプション機能の追加を予定しています。
- 他社製品との連携はオンプレミス版とは異なります。別途、クラウドで提供の準備が整い次第、ご案内します。

機能概要 ※ 詳細は担当営業にお問合せいただくか、機能一覧をご確認ください。

機能名	内容	VPN		HTTPS		HTTPS
		S1	S3	S1H	S3H	M1
資産情報の自動収集	PCのハードウェア情報、アプリケーション情報を自動で収集・一覧化	●	●	●	●	▲※1
アンケートでの情報収集	自動収集できないメールアドレスやレンタル期日等をアンケートで利用者が入力	●	●	●	●	×
ソフトウェア配布	指定したPCやグループに対して、アプリケーションの配布・自動インストール※2、※3	●	●	●	●	●
操作ログの収集	操作ログ（起動・終了ログ / ファイル操作ログ / Webアクセスログなど）を自動で収集	●	●	●※4	●※4	▲※4
操作ログの閲覧・検索	複数の条件でログを検索し、膨大なログから目的のログを絞り込み	●	●	●	●	●
ログデータの保存（バックアップ）	SKYSEA Client Viewの端末エージェントで収集したログをクラウド上に保管※5	●	●	●	●	●
レポート機能	収集したログを集計し、グラフや一覧をExcel形式でダウンロード	OP	OP	OP※6	OP※6	×
注意表示（アラート）	PCで特定の操作を行うと、アラートと管理者や利用者にメールやポップアップで通知	●	●	●	●	▲※7
不許可端末検知	SKYSEA Client View がインストールされていない端末機がネットワークに接続されると通知	●	●	●※6	●※6	×
不許可端末遮断	SKYSEA Client View がインストールされていない端末機がネットワークに接続されると遮断	OP	●	OP※6	●※6	×
端末機制限	指定したアプリの利用禁止や印刷禁止などPCやグループごとに特定の操作を禁止	●	●	●	●	▲※8
USBデバイス使用制限	USBデバイスやメディアの使用を制限。読み取り専用や使用禁止などを柔軟に設定	●	●	●	●	▲※9
USBデバイスの台帳自動登録・棚卸	USBデバイスをPCに挿入し、情報を収集して台帳を自動作成	●	●	●	●	●
リモート操作	クライアントPCに対して、管理者から遠隔でリモート操作	OP	●	OP※10	●※10	OP
EDRプラスバック	マルウェア検知、検知ファイル隔離、マルウェアを検知したPCをネットワークから自動遮断	OP	OP	OP	OP	×

※1 SKYSEA端末機（Windows）のみに対応しており、「ネットワーク機器情報、レジストリ情報」は非対応になります。 ※2 HTTPゲートウェイ環境では即時反映ができません。 ※3 登録できるソフトウェアの合計サイズの上限は20GBです。 ※4 一部のログ収集は非対応になります。 ※5 ログの保管期間はS1 / S1H / S3 / S3H：3ヶ月。M1：2年。 ※6 お客様にてVPN接続機器をご用意いただける場合、別途お申込みいただくことでVPN環境下にて利用できる機能です。 ※7 一部操作内容に対して、端末機の画面にアラートメッセージを表示（ポップアップ通知）のみ対応となります。 ※8 デスクトップアプリなど一部機能のみ対応となります。 ※9 USBデバイスの部署別使用制限、デバイス種別制御など一部制限のみ対応となります。 ※10 管理機とクライアントPCが直接通信できない環境ではご利用いただけない機能があります。

2.2 ログデータについて

ログ保存期間・容量について

SKYSEA Client Viewの端末エージェントで収集した操作ログはクラウド上で保管されます。

SKYSEA Client Viewクラウド上に保存できる操作ログ容量	
S1 / S1H Cloud Edition	92日間×1MB×契約台数
S3 / S3H Cloud Edition	92日間×6MB×契約台数
<ul style="list-style-type: none"> ログ保存容量が不足した場合には3ヶ月保存とならない場合があります。 規定されている容量を大幅に超えるログが蓄積される場合は、ログ保管容量追加 オプション（1TB単位）を契約してください。ログ保管容量追加オプションを契約すると、ログの保存は『期間』から『契約ディスク容量（標準 + オプションの合計容量）』になります。 ログ保管容量追加 オプション（1TB単位）を解除する場合は、クラウド上で保存しているデータの解除される容量分が削除されるのでご注意ください。解除のお申し込みをいただいた場合は、弊社からお問い合わせや確認のための連絡します。 	
M1 Cloud Edition	731日間
<ul style="list-style-type: none"> 大量のログが蓄積される場合は、告知の上、削除させていただく場合があります。 	

● S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition

ログリモートバックアップツール(LogRemoteBackup.exe)を使用してお客様のローカル環境にログを保存することが可能です。

● M1 Cloud Edition

ログを1ヶ月単位でCSV形式で出力していただくことが可能です。

2.3 SKYSEA Client Viewのバージョンについて

本サービスで提供するバージョンは下記の通りです。

提供するバージョンについて	<ul style="list-style-type: none"> ● S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition ご契約時点での、オンプレミス版SKYSEA Client Viewの最新バージョンを提供します。SKYSEA Client Viewのバージョンアップは、SKYSEA Client Viewの機能を利用して、お客様自身で対応をお願いします。常に最新のSKYSEA Client Viewが利用可能です。利用可能なバージョンは新バージョンが利用可能になった段階で弊社サービスサイトにてご案内します。 ● M1 Cloud Edition SKYSEA Client Viewのバージョンアップは、弊社にて対応します。
アップデートが実施されない場合	SKYSEA Client Viewのサポート期限終了時期が近づいてもバージョンアップがされていない場合、弊社から一定期間前にメール等でご案内します。ご案内後にもバージョンアップの対応が行われない場合は、弊社にてバージョンアップを行います。
脆弱性対策について	緊急の脆弱性が発見された場合はお客様に通知後、お客様が使用中のバージョンで脆弱性適用パッチの適用を弊社で実施します。緊急性が低い脆弱性の対策パッチについては、メールにてお客様に修正パッチの案内をお送りしますので、お客様にてアップデートをお願いします。

2.4 接続とセキュリティ対策について

● S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition

クラウド上にあるSKYSEA Client Viewが動作するマスターサーバーやデータサーバーはインターネットとの接続性はありません。

・https接続を利用する場合：httpsゲートウェイサーバーのみインターネットとの接続が行われます。

※Windows Updateを実行する際は、httpゲートウェイサーバーだけでなく、マスターサーバー、データサーバー、ログ解析サーバーなど全てのサーバーからMicrosoftのダウンロードサイトに接続します。

・VPN接続を利用する場合：接続に必要なポート以外は全て遮断します。

● M1 Cloud Edition

クラウド上にあるSKYSEA Client Viewが動作するマスターサーバーやデータサーバーはインターネットとの接続性はありません。

・httpsゲートウェイサーバーのみインターネットとの接続が行われます。

※Windows Updateを実行する際は、httpゲートウェイサーバーだけでなく、マスターサーバー、データサーバー、ログ解析サーバーなど全てのサーバーからMicrosoftのダウンロードサイトに接続します。

2.5 バックアップについて

万一、データが回復できないなどの問題発生時に対処するためのバックアップを取得しています。

バックアップ方式

● S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition

- クラウド上に保存されるSKYSEA Client Viewの資産情報やログ情報は、S k yにて定期的（デイリー）にイメージバックアップを実施しています。
- S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Editionのイメージバックアップデータの保存期間は30日間です。
- SKYSEA Client Viewで収集したログをクラウド上で3ヶ月以上保存したい場合は、お客様にて任意でログのバックアップを行ってください。その場合、バックアップ先はお客様環境のネットワークフォルダとなります。

● M1 Cloud Edition

- クラウド上に保存されるSKYSEA Client Viewの資産情報やログ情報は、S k yにて定期的（デイリー）にイメージバックアップを実施しています。
- イメージバックアップデータの保存期間はデイリー / 14日間、マンスリー / 12ヶ月です。過去2年間のログを1ヶ月単位で CSV 形式で出力できます。

● M1 Cloud Edition（リモート操作オプション）

- リモート操作オプションに関わるデータは、S k yにて、定期的（デイリー）にデータベースのバックアップを実施しています。
- バックアップデータの保存期間は、デイリー30日間です。

2.6 サービスへの接続方式について

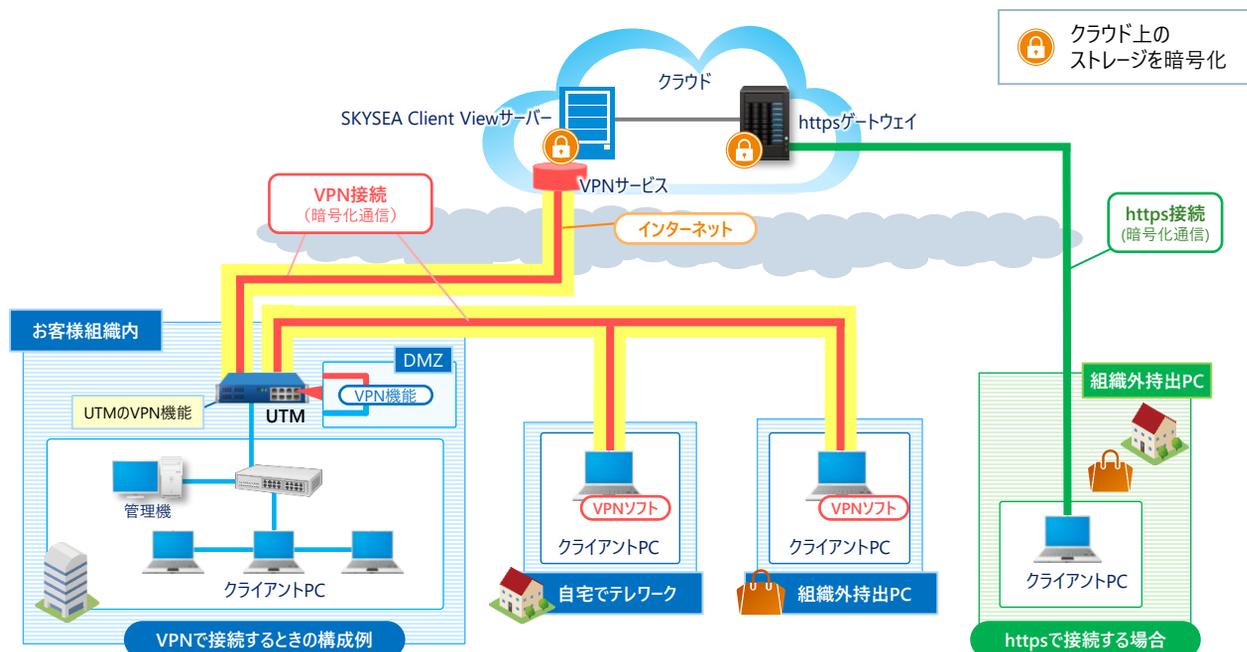
● S1 / S3 Cloud Edition

本サービスを利用いただくにはクラウドからのVPN接続が必須です。

SKYSEA Client View S1 / S3 Cloud Edition利用時にはVPN接続をご用意ください。

サービス料金にクラウド側VPNサービス利用料、トラフィック料金は含まれています。

本サービスへの通信は暗号化通信のみアクセスを許可しております。なお当社で採用している暗号化技術は「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト」に規定されている安全かつ適法なものを採用しています。



組織外で利用する端末への接続について

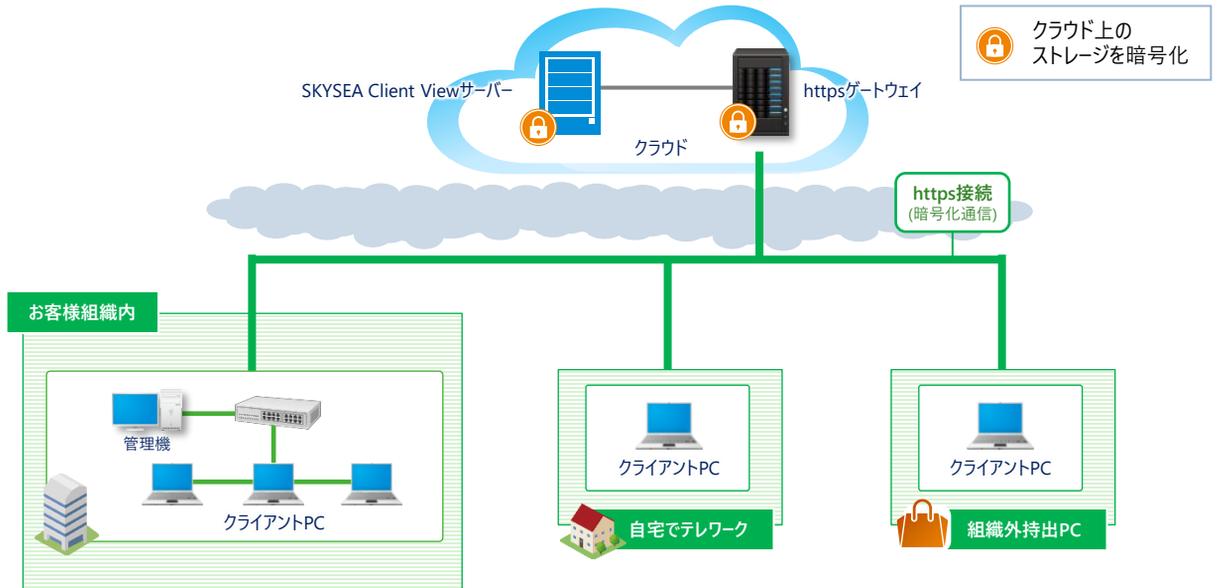
端末を組織外に持ち出して利用する際、組織内とVPN接続できる環境をお持ちの場合にはその環境を利用されることをお勧めします。
組織外と組織内をつなぐVPN接続がない場合には、httpsゲートウェイ接続を利用できるhttpsゲートウェイオプションをご利用ください。

● S1H / S3H Cloud Edition

本サービスはVPN接続なしで利用できます。

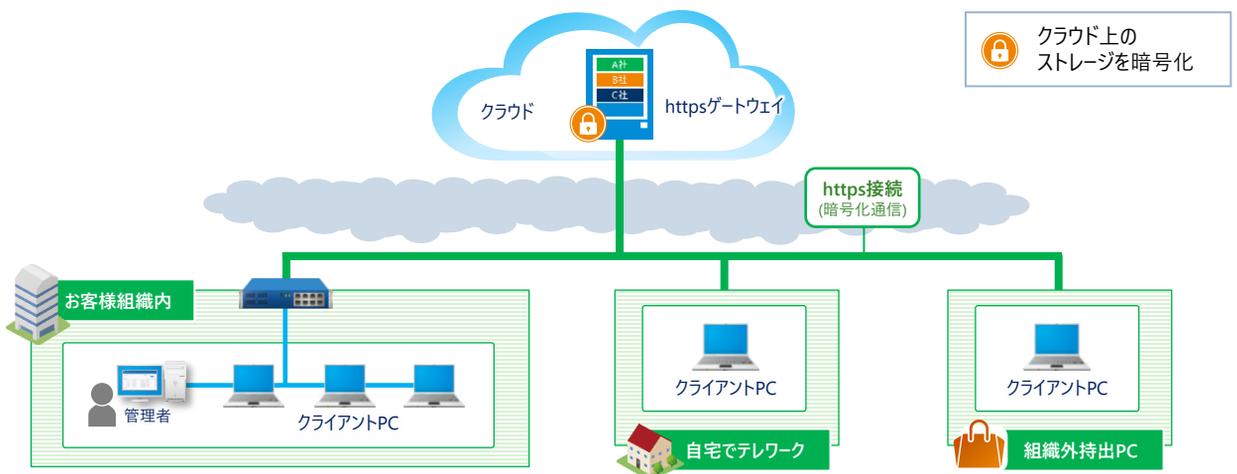
お客様にてVPN接続機器をご用意いただける場合、別途お申込みいただくことでVPN環境下にて利用できる機能があります。

本サービスへの通信は暗号化通信のみアクセスを許可しております。なお当社で採用している暗号化技術は「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト」に規定されている安全かつ適法なものを採用しています。



● M1 Cloud Edition

本サービスへの通信は暗号化通信のみアクセスを許可しております。なお当社で採用している暗号化技術は「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト」に規定されている安全かつ適法なものを採用しています。



2.7 サービス基盤で利用するOS・クラウドサービスについて

本サービスではクラウド上で、サポートが提供されているサーバーOSを利用しています。OSの更新プログラムは自動で適用されます。

クラウドサービス基盤について

Microsoft Azureを利用（日本国内のリージョンを利用しています）。

※ M1 Cloud Editionリモート操作オプションはOracle Cloud Infrastructureを利用しています。

Microsoft Azureにおける物理記憶装置の破壊および物理記憶装置上のデータの削除については、以下をご参照ください。
(<https://www.microsoft.com/ja-jp/trust-center/privacy/data-management>)

クラウド上のサーバーOSについて

- サーバーのOSはサポート期間中のものを利用しています。
※「サポート期間中」には、通常のサポート期間に加え、サポート提供終了後に適用される延長サポート期間も含まれます。
- Windows Server CALは不要です。
- ウイルス対策ソフトウェア（Antimalware Services）を動作しています。
- OSサポート終了の際には、お客様に連絡後、S k yにてOSの切替を行います。

システムアップデートについて

- Microsoft社の自動アップデート機能によりセキュリティアップデートを行い、弊社側で管理します。
- 不具合のあるアップデート等については弊社側でアップデートを停止します。

2.8 クロックの同期について

システム内は、「time.windows.com」で時刻同期を行っています。

お客様のクライアントPCの時刻同期が必要な場合は、上記標準時刻サーバーとローカルネットワーク上で独自に同期するなどの方法があります。

2.9 セキュリティに配慮した開発について

本サービスは以下の環境で開発しています。

- 開発環境について：「本番環境」、「社内検証環境」、「開発評価環境」の3つの環境があり、分離して開発しています。
- アクセス権限について：本番環境にはアクセス権を設定しており、権限のある開発者のみがアクセスできるようにしています。
- システム開発について：弊社の情報セキュリティマネジメントシステム及び開発手順に則り、進めています。
- リリースについて：変更管理プロセスを定めセキュリティに配慮して実施しています。
- ソースコードについて：専用ツールを用いて管理しています。

2.10 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化について

本サービスは以下の分析、仕様で運用しています。

- 役職（権限）設定機能、役職に合わせた閲覧制限機能、アカウント管理、利用者登録、などの情報セキュリティ機能を提供しています。

2.11 記録の保護について

ログデータを含むバックアップデータ	冗長化構成で保護
お客様からのお問い合わせをはじめとする各種対応履歴	アクセス権限が設定された場所に保管して保護

3. ライセンス・契約について

3.1 ライセンス・利用期間について

本サービスで提供するライセンスや利用期間の条件は以下の通りです。

利用台数	<ul style="list-style-type: none"> ● S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition 利用期間中は50台（最小契約台数）以上の契約が必要です。契約台数の上限は20,000台です。 ● M1 Cloud Edition 利用期間中は最小契約台数（1台）以上の契約が必要です。契約台数の上限は20,000台です。
最低利用期間	お支払い開始月より1年以上の利用契約が必要です。ライセンス追加の場合は、最初の導入から1年以上経過してれば追加ライセンスに最低利用期間の設定はありません。
ライセンスの増減	<ul style="list-style-type: none"> ● 月単位でのライセンス追加・削減が可能です。最低利用期間（1年）に満たない場合はライセンス数の削減はできませんが、ライセンス数の追加は可能です。2年目以降も契約ライセンス数を最小契約台数以下に減らすことはできません。
ライセンス増減時の価格について	<ul style="list-style-type: none"> ● ご契約の台数によって、ライセンス単価が変わります。 ● ライセンスの増減があった場合、月額ライセンスは増減されたライセンスの課金開始・もしくは課金終了時より、その契約台数での価格レンジが全契約に適用されます。年額ライセンスの場合、追加ライセンスは課金開始時の総契約台数での価格レンジが適用されます。

3.2 契約について

本サービスの契約条件は下記の通りです。

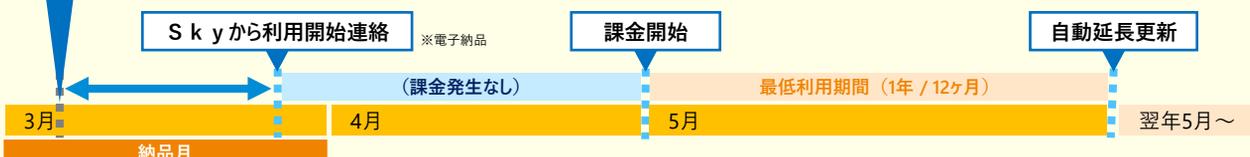
契約について	販売店から購入をお願いします。本サービスは、月額 / 年額（自動で延長更新）で提供します（販売店により契約形態は異なりますので、直接販売店にご確認ください）。年額と月額の混在はできません。
契約開始について	<ul style="list-style-type: none"> ● S k y に発注書と必要書類が到着した翌日から起算して、以下の営業日に利用開始に必要な情報をお客様にお届けします。 [S1 / S1H / S3 / S3H：約13営業日]、[M1：約5営業日] ● S k y から利用開始に必要な情報をお客様に送信した翌々月 1 日より課金を開始します。その間に SKYSEA Client View のインストールや必要な設定をお願いします。
契約終了について	<ul style="list-style-type: none"> ● 契約終了は毎月20日までにお申し出いただくと、翌月末で契約終了となります。 ● 契約終了日の翌日より、本サービスへのアクセスはできなくなります。クラウド上に保存されていたデータは契約終了より1ヶ月経過後、全て破棄されます。
価格改定	<p>本サービスの価格は変更される場合があります。</p> <p>価格改定を行う場合、31日以上前にWebサイトにてお客様に変更内容を通じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 月額契約の場合、価格改定を通知した翌々月1日より新価格で課金します。 ● 年額契約の場合、契約期間満了後、更新時のお支払いより新価格が適用されます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● オンプレミス版のSKYSEA Client Viewをご利用いただいているお客様も、新規での契約となります。 ● 日本国外における本サービスの利用および付随する関連行為（販売、情報の持ち出し、各種サポート等）には対応いたしません。

ご契約・お支払い開始時期

ご注文いただいたあと、S k y より利用開始をご連絡します。利用開始連絡の翌月末まで無償でご利用いただけます。（この期間にクライアントPCへのインストール等をご準備ください）課金開始月より1年間が最低利用期間となります。

S1 / S1H / S3 / S3H：発注書・必要書類到着日の翌日から13営業日で利用可能
M1：ご発注書・必要書類到着日の翌日から5営業日で利用可能

※付帯するオプションによって利用可能日が延長になる場合があります。



3.3 サービス終了後のデータについて

- ・ 契約終了日の翌日より、本サービスへのアクセスはできなくなります。データが必要な場合は契約終了時まで、お客様自身でIT資産情報やログを出力してください。
- ・ 契約終了後、30日以内に継続申し込みがあれば、契約終了時の内容で再開できます（※契約上は新規契約となります。また、直近の終了時以上の契約台数で最低利用期間1年以上でのご契約が必要です）。
- ・ クラウド上に保存されていたデータは契約終了より31～40日までの期間内に削除します。
※M1 Cloud Editionでは、弊社で取得しているイメージバックアップは、契約終了後、継続申し込みが可能な期間の30日間に加え、イメージバックアップの保存期間の12ヶ月が経過したタイミングで完全に削除します。
 ※M1 Cloud Editionのリモート操作オプションに関わるデータはバックアップデータを含め、契約終了後のデータ削除期間31～40日間に加え、30日が経過したタイミングで完全に削除します。

3.4 販売方法について

Sk yのWeb サイトによるオンラインで直接販売は行っていません。
 販売店、流通販売店、Sterなどのパートナー企業に対して提供します。
 サービス契約形態は、年間利用料（自動更新あり/自動更新なし）、月額利用料（自動更新あり）から選択できます。

3.5 ライセンスの不正利用について ※SKYSEA Client View Cloud Edition利用規約 第12条（利用状況の確認）より（2023年10月4日改定）

SKYSEA Client Viewをご利用いただくには、管理するクライアントPC、デバイス、サーバー（SKYSEA Client View管理サーバーを除く）の台数分のライセンスが必要です。Sk yは本サービスの利用状況についてお客様に通知の上で監査を行うことがあります。監査によりライセンスの不正利用が発覚した場合は、Sk yより書面で通知します。不正に利用したライセンス数に応じた費用、および監査に際して発生した費用をお支払いいただきます。支払いが滞る場合は事前に通知することなくサービスの提供を停止する場合があります。

不正利用とみなされる例

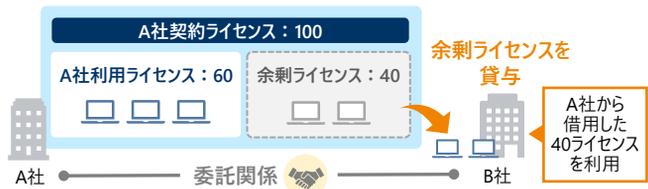
- ・ 契約数を超えるライセンスの利用

例 100ライセンス契約して、120台のPCにインストールして利用している

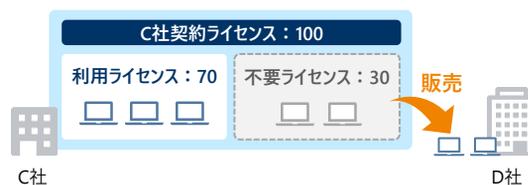


- ・ 許諾された利用権の範囲を超えるサービスの利用

例 100ライセンスを契約したA社が、委託先のセキュリティ向上のため、一部（40ライセンス）をB社へ貸与し、B社が管理するPCにインストールして利用している ※A社とB社は資本関係がない。



例 100ライセンスを契約したC社が一部（30ライセンス）をD社に販売し、D社のPCにインストールして利用している



PC入れ替え時のライセンス利用について

- ⚠️ リプレイスなどの入れ替え時には、SKYSEA Client Viewのモジュールを旧PC、新PCに一時的にインストールできます※。入れ替え後は、資産情報やログが旧PCからサーバーへアップロードされないよう、旧PCからSKYSEA Client Viewの削除やネットワークから遮断いただきますようお願いいたします。

※ 旧PCの資産情報やログなどが管理機上のデータに残っていても問題ありません。



4. サービス関連事項

4.1 動作環境

SKYSEA Client Viewの各種サーバーをクラウド上に構築しています。

動作環境について	「4.11 スペック情報」をご確認ください。
VPN装置について	<ul style="list-style-type: none"> ● S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition ご利用いただくVPN装置については、Microsoft社 Azureに対応している製品をご利用ください。 https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/vpn-gateway/vpn-gateway-about-vpn-devices ※ VPN装置に対してAzureリソースへのアクセス権を付与する事はできません。

4.2 サービス提供時間

サービス提供時間	24 時間 365 日
メンテナンス時に必要なサービス停止時を除きます。メンテナンスの詳細は、「メンテナンスについて」をご参照ください。	

4.3 サポートについて

対応時間	9:30～17:30（土・日・祝、ならびに弊社の定める休業日を除く平日）
製品についてのお問い合わせ・障害対応は、お客様専用ダイヤル、Webフォーム、e-mail等にて対応します。契約期間中は常に最新版のソフトウェアを提供します（メジャーバージョンアップ含む）。	

4.4 メンテナンスについて

通常メンテナンス	データのバックアップ、サービスの機能追加、修正や設備の拡張やクラウド基盤の重大な利用不具合の対策などで停止を伴うメンテナンスを実施します。 データのバックアップや軽微なメンテナンスは、毎日AM1時～AM6時の時間帯で事前通知なしの計画実行となります。 メンテナンス中は、SKYSEA Client Viewの管理機画面が表示されない場合があります。 また、Windows更新の実施時ではOSの再起動等が発生する場合があります。
緊急メンテナンス	サービスの継続・維持に影響があるような弊社が緊急と判断した場合に、緊急メンテナンスを実施する場合があります。緊急メンテナンスを行う場合は、保守契約ユーザー用Webサイトにて実施時間、実施理由、影響範囲についてお知らせを行った上で実施します。
<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーに対して、Microsoft社の自動アップデート機能によりセキュリティアップデートを行い、弊社側で管理します。 	

4.5 障害時の対応について

- サーバーに関連する障害が発生した場合、弊社にて直接サーバーに接続して対応します。
 - **S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition**
全てのケースでは上記の対応は実施いたしません。対応する範囲は都度お客様と相談の上実施します。
 - **M1 Cloud Edition**
全てのケースで弊社にて対応を実施します。
- データに関する障害が発生した場合、弊社にてロールバック処理を実施し、復旧対応します。
 - **S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition**
障害発生時にロールバックを行う際は、弊社にてイメージバックアップから実施します。復旧に要する期間については、弊社から個別にメールやお電話等でご案内します。
 - **M1 Cloud Edition**
障害発生時にロールバックを行う際は、弊社にてイメージバックアップから実施します。復旧に要する期間については、「SKYSEA Client View 保守契約ユーザー用Webサイト」にてご案内します。
 - **M1 Cloud Edition (リモート操作オプション)**
リモート操作オプションのデータベース内に障害が発生した場合、必要に応じてバックアップからデータを復旧します。復旧に要する期間については、「SKYSEA Client View 保守契約ユーザー用Webサイト」にてご案内します。

4.6 オンプレミス版について

- オンプレミス版からCloud Editionへの移行について、割引やライセンスの変更などは行っていません。新規でSKYSEA Client View Cloud Editionをご契約ください。
- 現在オンプレミス版をご利用の方は、マスターサーバーやログデータを保存するデータサーバーを残してそちらから以前のログやIT資産情報の参照にご利用ください。クラウドからオンプレミス版へのデータ移行やデータ移行サービスはありません。
- オンプレミス版とCloud Editionの併用はできません。

4.7 制限事項

SKYSEA Client Viewの制限事項はWebサイトをご確認ください。

<https://www.skyseaclientview.net/>

4.8 注意事項

- SKYSEA Client View Cloud Editionではオンプレミス版SKYSEA Client Viewとは運用環境が違うため、同等の機能を提供しないものがあります。
- ウイルスが感染した端末からのアクセスや不正動作が疑われる場合は、アクセスを無効にさせていただく場合があります。
- ソフトウェア配布での配布データは合計20GBまでが上限となります。
- 提供する機能の動作によってはお客様のネットワークを経由した動作がおこなわれる場合があります。
- HTTPSゲートウェイ環境でプロキシサーバーを利用する場合は、別途設定が必要になります。

4.9 情報セキュリティインシデントについて

- データ消失や長期間のシステム停止など、お客様への大きな影響を及ぼすセキュリティインシデントが発生した場合には、インシデントの発生を確認してから翌営業日以内を目標に、「SKYSEA Client View 保守契約ユーザー用Webサイト」にてお知らせを発信します。
- 特定のお客様に対して影響を及ぼすセキュリティインシデントの場合は、弊社から個別にメールやお電話等でご案内します。また、不正な侵入やマルウェア感染などといった事象を検知した場合は、弊社にて緊急メンテナンスを行う可能性があります。緊急メンテナンスについては「4.4 メンテナンスについて」をご確認ください。

4.10 情報セキュリティ事象の報告について

情報セキュリティ事象の報告は、「SKYSEA Client View 保守契約ユーザー用Webサイト」内に記載したサポートダイヤルやお問い合わせフォームよりお願いします。

対応・解消方法については「SKYSEA Client View 保守契約ユーザー用Webサイト」にてお知らせし、情報を追跡できるようにしています。

4.11 スペック情報

● S1 / S1H / S3 / S3H Cloud Edition

対応OSについて：管理機（Windows）・端末機（Windows）

CPU	1GHz 以上（x86アーキテクチャまたはx64アーキテクチャ）
メモリ	256MB以上※1
ハードディスク	管理機は4200MB以上、端末機は2400MB以上の空きがあること※2
OS	Windows 2000 Server SP4
	Windows 2000 Professional SP3※3 / SP4
	Windows Server 2003 Standard Edition SP1 / SP2、Standard Edition x64 SP2、Enterprise Edition SP1 / SP2、Enterprise Edition x64 SP2、R2 Standard Edition SPなし / SP2、R2 Standard Edition x64 SP2、R2 Enterprise Edition SPなし / SP2、R2 Enterprise Edition x64 SP2
	Windows Server 2008 Standard Edition SPなし / SP2、Standard Edition x64 SPなし / SP2、Enterprise Edition SPなし / SP2、Enterprise Edition x64 SPなし / SP2、R2 Standard Edition SPなし / SP1、R2 Enterprise Edition SPなし / SP1
	Windows Server 2012 Standard、Datacenter、R2 Standard、R2 Datacenter
	Windows Server 2016 Standard、Datacenter
	Windows Server 2019 Standard、Datacenter
	Windows Server 2022 Standard、Datacenter、Datacenter: Azure Edition※4
	Windows Server 2025 Standard、Datacenter、Datacenter: Azure Edition※4
	Windows XP Professional SP1 / SP2 / SP3、Professional x64 Edition SP2
	Windows Vista Business SPなし / SP1 / SP2、Business x64 Edition SPなし / SP1 / SP2、Enterprise SPなし / SP1 / SP2、Enterprise x64 Edition SPなし / SP1 / SP2、Ultimate SPなし / SP1 / SP2、Ultimate x64 Edition SPなし / SP1 / SP2
	Windows 7 Professional SPなし / SP1、Professional x64 Edition SPなし / SP1、Enterprise SPなし / SP1、Enterprise x64 Edition SPなし / SP1、Ultimate SPなし / SP1、Ultimate x64 Edition SPなし / SP1
	Windows 8 Windows 8、Pro、Pro With Media Center、Enterprise
	Windows 8.1 Updateなし / Update 1 Windows 8、with Bing、Pro、Pro With Media Center、Enterprise、Embedded Industry Pro、Embedded Industry Enterprise
Windows 10 Home、Pro、Pro Education、Pro for Workstations、Enterprise、Enterprise LTSC、Education、IoT Enterprise、IoT Enterprise LTSC	
Windows 11 Home、Pro、Pro Education、Pro for Workstations、Enterprise、Education、IoT Enterprise、Enterprise LTSC 2024、IoT Enterprise LTSC 2024	
ブラウザ	ログ解析クライアント、資産・ログ活用レポートライブラリ、申請・承認ワークフローシステム、資産データ / ログデータWeb閲覧機能のご利用には、Firefox、Google Chrome、Microsoft Edge（Chromium版）、Internet Explorer※5のいずれかのブラウザが必要です。
ディスプレイ	1024×768 16bit Color以上
ハードウェア環境	Intel® vPro™ Technologyに対応※6
ネットワーク	TCP/IP通信ができるネットワークであること
<p>※1 端末機の台数増加に伴い、管理機に必要なメモリも増加します。端末機が300台以上の場合、管理機には512MB以上のメモリが必要です。512MB未満の場合、ログの最大表示件数を20,000件以下に設定する必要があります。それ以上の件数は、表示時間が非常に遅くなります。※2 運用状況により異なります。 ※3 不許可端末遮断ユニット一括設定ツールは動作いたしません。</p> <p>※4 Datacenter: Azure Editionは、端末機（Windows）のみ対応しています。※5 資産・ログ活用レポートライブラリは、Internet Explorer 8 / 9 / 10 / 11（Windowsストアアプリ版は非対応）で利用可能です。ログ解析クライアントは、Internet Explorer 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11（Windowsストアアプリ版は非対応）で利用可能です。申請・承認ワークフローシステム、資産データ / ログデータWeb閲覧機能は、Internet Explorer 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11（Windowsストアアプリ版を含む）で利用可能です。※6 SKYSEA Client ViewのIntel vProテクノロジー AMT対応機能をご利用の際は、お客様の環境がIntel vProテクノロジー AMTが動作する環境か、ご確認いただきますようお願いいたします。一例として、Intel vProテクノロジー AMTでは、無線LAN環境において固定IPアドレスをサポートしていないため、DHCP環境でしか動作しないことが確認されております。また、KVMリモート・コントロールのみ対応していない機種もございます。</p>	

対応OSについて：端末機（Mac）

CPU	Intel製CPU、Apple製CPU	
メモリ	512MB以上 / 4GB以上	
ハードディスク	空き容量600MB以上	
OS	Mac OS X 10.4 Tiger x86、Tiger x64	macOS 10.13 High Sierra x64
	Mac OS X 10.5 Leopard x86、Leopard x64	macOS 10.14 Mojave x64
	Mac OS X 10.6 Snow Leopard x86、Snow Leopard x64	macOS 10.15 Catalina x64
	OS X 10.7 Lion x86、Lion x64	macOS 11 Big Sur x64
	OS X 10.8 Mountain Lion x64	macOS 12 Monterey x64
	OS X 10.9 Mavericks x64	macOS 13 Ventura x64
	OS X 10.10 Yosemite x64	macOS 14 Sonoma x64
	OS X 10.11 El Capitan x64	macOS 15 Sequoia x64
	macOS 10.12 Sierra x64	
Mac OS X 10.4～10.7、およびOS X 10.8～10.9は、Mac OpenJDK 6をインストールする必要があります。 Apple製CPUを搭載しているMac端末の場合、SKYSEA Client Viewをインストールする前にRosettaをインストールする必要があります。		

対応OSについて：端末機（Linux）

OS	Red Hat® Enterprise Linux® 4 x86 / x64、5 x86 / x64、6 x86 / x64、7 x64、8 x64、9 x64
	Ubuntu 18.04 LTS x64、20.04 LTS x64、22.04 LTS x64、24.04 LTS x64
	CentOS
	Amazon Linux 2023 x64
CPU、メモリ、ハードディスクの動作環境は、端末機（Windows）に準じます。Microsoftストアで公開されているUbuntuには対応していません。SKYSEA Client Viewをインストールした状態で、OSメジャーバージョンアップは行えません。SKYSEA Client ViewをアンインストールしてからOSメジャーバージョンアップを行い、SKYSEA Client Viewを再インストールする必要があります	

仮想化・シンクライアント

S k y 株式会社	SKYDIV Desktop Client	
プロードコム・ジャパン合同会社	サーバー仮想化	VMware ESXi™
OmniSSA Japan合同会社	デスクトップ仮想化	Horizon
	アプリケーション仮想化	Horizon
シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社	サーバー仮想化	Citrix Hypervisor
	デスクトップ仮想化	Citrix Virtual Apps and Desktops
	アプリケーション仮想化	Citrix Virtual Apps and Desktops
日本電気株式会社	デスクトップ仮想化	VirtualPCCenter
日本ヒューレット・パッカード合同会社	デスクトップ仮想化	CCI
日本マイクロソフト株式会社	サーバー仮想化	Microsoft Hyper-V
	アプリケーション仮想化	Microsoft Remote Desktop Service

● M1 Cloud Edition

対応OSについて：管理機

ブラウザ	Microsoft Edge (Chromium版) : 102.0.1245.44～ Google Chrome : 102.0.5005.115～ Firefox : 101.0.1～
※ ブラウザを利用するPCは、端末機 (Windows) <M1 Cloud Edition>、端末機 (Mac) <M1 Cloud Edition> の動作要件を満たす必要があります。	

対応OSについて：端末機

CPU	1GHz 以上 (x86アーキテクチャまたはx64アーキテクチャ)
メモリ	1GB以上
ハードディスク	2400MB以上の空きがあること※1
OS	Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1、R2 Enterprise Edition SP1
	Windows Server 2012 Standard、Datacenter、R2 Standard、R2 Datacenter
	Windows Server 2016 Standard、Datacenter
	Windows Server 2019 Standard、Datacenter
	Windows Server 2022 Standard、Datacenter、Datacenter: Azure Edition
	Windows Server 2025 Standard、Datacenter、Datacenter: Azure Edition
	Windows 7 Professional SP1、Professional x64 Edition SP1、Enterprise SP1、Enterprise x64 Edition SP1、Ultimate SP1、Ultimate x64 Edition SP1
	Windows 8 Windows 8、Pro、Pro with Media Center、Enterprise
	Windows 8.1 Windows 8.1、with Bing、Pro、Pro with Media Center、Enterprise、Embedded Industry Pro、Embedded Industry Enterprise
	Windows 10 Home、Pro、Pro Education、Pro for Workstations、Enterprise、Enterprise LTSB、Education、IoT Enterprise、IoT Enterprise LTSB
Windows 11 Home、Pro、Pro Education、Pro for Workstations、Enterprise、Education、IoT Enterprise、Enterprise LTSC 2024、IoT Enterprise LTSC 2024	
※1 運用状況により異なります。	

対応OSについて：端末機 (Mac)

CPU	Intel製CPU、Apple製CPU
メモリ	4GB以上
ハードディスク	空き容量600MB以上※1
OS	macOS 10.15 Catalina x64
	macOS 11 Big Sur x64
	macOS 12 Monterey x64
	macOS 13 Ventura x64
	macOS 14 Sonoma x64
	macOS 15 Sequoia x64
Apple製CPUを搭載しているMac端末の場合、SKYSEA Client Viewをインストールする前にRosettaをインストールする必要があります。 ※1 運用状況により異なります。	

● M1 Cloud Edition (+リモート操作オプション)

対応OSについて：遠隔制御対象PC（操作先） / 利用者側操作PC（操作元）

CPU	1.6GHz以上、2コア以上（x86アーキテクチャまたはx64アーキテクチャ）
メモリ	4GB以上
ハードディスク	32MB以上
ネットワーク	1GBase-T以上
遠隔制御対象PC OS	Windows 10（Version 1803以降） Home、Home x64 Edition、Pro、Pro x64 Edition、Pro for Workstations、Pro for Workstations x64 Edition、Enterprise、Enterprise x64 Edition、Enterprise LTSC 2019、Enterprise LTSC 2019 x64 Edition、Education、Education x64 Edition、Pro Education、Pro Education x64 Edition
	Windows 11 Home x64 Edition、Pro x64 Edition、Pro for Workstations x64 Edition、Enterprise x64 Edition、Education x64 Edition、Pro Education x64 Edition
	Windows Server 2019 Standard Edition、Datacenter、Essentials
	Windows Server 2022 Standard Edition、Datacenter、Datacenter: Azure Edition
	Windows Server 2025 Standard Edition、Datacenter、Datacenter: Azure Edition
利用者側操作PC OS	Windows 8 Windows 8、Windows 8 x64 Edition、Pro、Pro x64 Edition、Pro with Media Center、Pro with Media Center x64 Edition、Enterprise、Enterprise x64 Edition
	Windows 8.1 Windows 8.1、Windows 8.1 x64 Edition、with Bing、with Bing x64 Edition、Pro、Pro x64 Edition、Pro With Media Center、Pro With Media Center x64 Edition、Enterprise、Enterprise x64 Edition
	Windows 10 Home、Home x64 Edition、Pro、Pro x64 Edition、Pro for Workstations、Pro for Workstations x64 Edition、Enterprise、Enterprise x64 Edition、Enterprise LTSC 2019、Enterprise LTSC 2019 x64 Edition、Education、Education x64 Edition、Pro Education、Pro Education x64 Edition
	Windows 11 Home x64 Edition、Pro x64 Edition、Pro for Workstations x64 Edition、Enterprise x64 Edition、Education x64 Edition、Pro Education x64 Edition

Sky株式会社 — <https://www.skygroup.jp/> —

■ 東京本社 〒108-0075
東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川イーストビル9F
TEL.03-5796-2752 FAX.03-5796-2977

■ 大阪本社 〒532-0003
大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F
TEL.06-4807-6374 FAX.06-4807-6376

■ 札幌支社 仙台支社 大宮支社 横浜支社 静岡支社 三島支社 名古屋支社 神戸支社 広島支社 松山支社 福岡支社 沖縄支社

●SKYSEA および SKYSEA Client View は、S k y 株式会社の登録商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。